



新緑が輝きを増してきた校庭の木々の傍らで、入学や進級をした子どもたちが、新しい環境にもすっかり慣れて、元気に走り回ったり遊具で遊んだりしているこの頃です。

4月6日(金)に、かわいい3人の新入生を迎え、14人の児童と9名の職員で平成30年度がスタートしました。

入学式では、多くのご来賓、地域や保護者の皆様からの励ましの言葉や式へのご臨席をいただき、緊張した中にもなごやかな雰囲気の中、希望に満ちた門出ができました。

30年度も、全ての子どもたちと教職員が一緒になって毎日楽しく元気に過ごして、本校のよさや伝統を生かし、さらにいい学校を創っていきます。

ご支援ご協力をこれまで通り、よろしくお願いいたします。

《こんな学校を目指して頑張ります》

【学校教育目標】

『豊かな心を持ち、たくましく生きぬく力を備えた川上の子どもを育てる。』

〈校訓〉○ かしこく ○ たくましく ○ うるわしく

〈キャッチフレーズ〉『出会い、ふれあい、学び合い』

※具体的な方策や活動を通して、目標を達成していきます。

川上っ子 平成30年 4月号

《生き生きとした子どもたちの姿》

新年度のスタートにもすっかり慣れ、朝のボランティアや清掃活動では、上級生が下級生に指示をしたりほうきの使い方を教えたりする姿。昼休みに上級生も下級生も一緒になって校庭で遊んでいる姿。授業中に友達同士で教え合ったり、意見交換をしたりして課題を解決していく姿。小規模校ならではのキラリ輝く子どもたちの姿。子どもたちの元気な姿が、これからいろいろな場で見られそうです。



【転入された職員との出会い】

平成30年度教職員人事異動で次の3名の職員が、転入しましたので紹介いたします。

◎ **西山香月子 教諭** (喜界町立早町小学校より) 緑の美しい学校で明るく素直な子どもたちと一緒に学んだり活動したりできることを嬉しく思います。子ども一人一人が輝き自信をもって生活できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

◎ **迫るり子 養護教諭** (いちき串木野市立冠岳小学校より) ボランティア活動、係活動など1人で何人分も自ら働く川上っ子たちの姿「すごい!」と思いました。川上っ子たちが「自分の体の主人公」になるお手伝いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎ **久木野悦子 学校主事** (新規雇用) 縁あって母校である川上小で働くことになりました。毎日子どもたちの元気な声とキラキラした眼に元気をもらっています。また、先生方には多忙な中にも親切、丁寧に教えてくださいます。感謝です。子どもたちが楽しく学校生活を過ごせるように少しでもお手伝いしたいと思います。



《PTA役員紹介》

今年度のPTA役員を紹介いたします。(敬称略)

- 〔会長〕内田王騎
- 〔副会長〕久保久子, 淵上さゆり
- 〔保健安全部長〕吉留廣樹
- 〔顧問〕池田伸一 〔会計〕新原 仁
- 〔書記〕岡留真吾
- 〔監査員〕小牟田奈津紀, 吉留美幸



正会員をはじめ地域の皆様にも、教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《御礼申し上げます》

有限会社北園鉄工さんが、「子どもたちが安心して遊べるように」と、腐食の激しかったサッカーゴールの修繕をボランティアでしてくださいました。また、学校正門の門扉は、一から手作りで作製してくださいました(川上小の校章入り)。



さらに、コウ自動車さんが新1年生への入学記念品として図書券を贈呈してくださいました。人、自然、きれいな校舎等、恵まれた環境で教育活動を展開できることに感謝して、今後も子どもたちのために頑張っていきたいと思います。

《5月の主な行事予定》

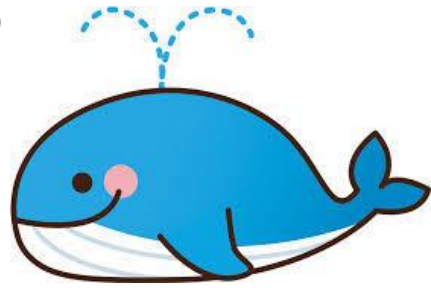
- 6日(日) 茶摘み(予定)
- 8日(火) 授業参観(5校時)
- 11日(金) 不審者対応訓練
- 12日(土) 茶の袋詰め(9:00~多目的ホール)
- 15日(火) 内科検診
- 22日(火) 眼科検診
- 23日(水) 5・6年修学旅行(~24日)
- 24日(木) 春の一日遠足(1~4年)
- 25日(金) 5・6年休養措置日
- 26日(土) チャレンジ教室
- 27日(日) いちきウォーキング大会



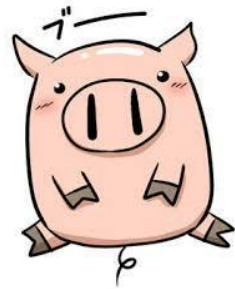
《深く考え続ける子どもの育成》

始業式では、学校長が次のような話を子どもたちにしました。
(以下話の内容を要約しています。)

「昔らくだの仲間だったくじらは、陸を歩いていました。やがて、海に出て生活の場を見つけて、水に慣れだしました。以前は陸にいたので足がありましたが、足を使うことがなくなったため、いつの間にか体の中に収まってしまいました。



豚は、もともとイノシシでした。しかし、昔人間がイノシシを飼うようになってから、えさを与えられるようになったため、木の皮などをほじる必要性がなくなりました。そのため、牙は短くなって退化していきま



ここから分かることは、使わないと退化することです。人間が、他の動物と違うところは、「深く考える」ことです。人間が発達してきた特徴です。勉強して深く考えることをしなかったら、進歩しないどころか、逆に退化してしまうんです。ですから、皆さん一生懸命勉強をしましょうね。」



新学習指導要領のポイントに、「生きて働く知識・技能の習得」が掲げられています。今回新たに「生きて働く」が付け加えられています。これは、「子どもたちが今までに習った知識をフル活用して、新しい知識を自分で作り出す授業をなさいね。さらには、子どもがそうしたくなる本物の場の設定やしかけを授業の中でしていきなさいね。」ということです。

習った知識・技能は使い続けることで、再構成されて、より磨かれていきます。せっかく習った知識も使わなければ、子どもは忘れてしまいます。習ったことを生かして考え続ける授業を通して、子どもたちに課題解決能力を身に付けさせていきたいと思っています。



たくさんの地域の方に見守られ 感動の卒業式に

3月22日(木)の卒業式には、御多用中にもかかわらずたくさんの地域の方にも御出席いただき本当にありがとうございました。地域の皆様に見守られ、立派に川上小を巣立って行った2人の卒業生。大きく大きく羽ばたいてほしいと思います。今後とも御支援をよろしくお願いいたします。



『感動の卒業式』 熊本県大津町 富永美恵子さん
「二人だけの卒業式に来てください。」孫の便りでワクワクしながら、いちき串木野の川上小学校に足を運びました。花いっぱいの中を誇らしげに歩く二人の女の子。見守る先生方の温かい眼差し、来賓、地域の方々も大勢参加して、「頑張ったね。いつも見ていたよ。」と声が聞こえてきそうな卒業式でした。一人一人に向けた校長先生の温かい式辞、5年生から始めて2人になって席替えができたことが一番嬉しかったという孫の同級生。全生徒12人で兄弟のように支え合い、励まし合い、そして互いに競い合い、自分を磨いた毎日。別れを惜しむ在校生の清らかな大粒の真珠の涙で感じる事ができました。それに応えて立派に成長した二人が涙を必死で我慢してエールを送る姿。失われつつある大切な心を思い出し、感動させてくれた時間でした。招待してくれてありがとう。小さな学校から大きく育つとり年生まれの二人の卒業生。春から新しい世界の扉を開けて大きく羽ばたいてください。お招きいただき、ありがとう。心より感謝します。
(4月3日 南日本新聞 ひろば欄より)

